

◎昭和 46 年度第 1 回理事会議事録 (46.6.25) 出席者：高野会長、石川、奥村、河上、篠原の各副会長、下村専務理事、足立、浅間、荒木、井上、石上、岩垣、小山内、尾崎、岡田、金子、叶、吉川、後藤(尚)、後藤(明)、鈴木、竹内、難波、長谷川、半谷、細井、三浦、村田、山本の各理事、柳瀬、横田の各監事。議事録署名理事の決定：高野会長、下村専務理事、井上理事。A. 報告事項：次の各項につき下村専務理事から報告があり了承された；1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。B. 協議事項：1) 副会長の会長代理順位について；高野会長から、第 1 順位河上副会長、第 2 順位石川副会長を指名し了承した。2) 会務担当理事の決定について；下記のとおりに決定した。

総務担当 吉川、三浦、半谷
企画担当 後藤(明)、竹内、岡田
経理担当 石上、小山内、金子
編集出版担当 井上、山本、後藤(尚)
調査研究担当 岩垣、細井、難波

3) 日本学術会議第 9 期会員候補者の推せんについて；原案どおり決定した。4) 田中博士記念基金の運用について；会務担当理事会で検討のうえ決定することにした。5) 研究委託について；①土木構造物の取替標準に関する研究(国鉄)、②合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究(国鉄)、③沈埋トンネルの耐震性に関する研究(建設省)、の 3 件について下村専務理事から説明があり、受託することを異議なく決定。6) その他；①建設工事標準請負契約約款について、②会員の入退会について、③理事会の開催日について。7) 委員の委嘱について

① 文献調査委員会

委員 飯嶋 宣雄 東京都

② 岩盤力学委員会

委員 福岡 正己 東京大学
立石 俊一 建設省
松岡国太郎 日本道路公団
江本 昭彦 国鉄
伊藤友太郎 同
大塚 勝美 日本道路公団
小田 匡寛 埼玉大学
今井 五郎 東京大学

③ 原子力耐震部会(西地区)

主 査 大島 輝彦 四国電力

④ 原子力耐震部会

幹 事 馬場 恭平 電源開発

⑤ 建設コンサルタント委員会

幹 事 清水 博 建設省
伊藤友太郎 国鉄

竹下 真雄 日本鉄道建設公団
島 宏 日本交通技術
◎ 八郎潟干拓船越水道計画施工研究委員会
委員長 本間 仁 東洋大学
委員 岸 力 北海道大学
久宝 保 日本大学
鶴田 千里 運輸省
永井莊七郎 大阪市立大学
細井 正延 名古屋工業大学
溝口 裕 防衛大学
田村徳一郎 明治大学
堀川 清司 東京大学
中村 充 農林省
湯川 勝太 同

◎ 中海干拓事業水理研究専門委員会(45年度)

委員長 速水 頌一郎 東海大学
岩垣 雄一 京都大学
奥田 節夫 同
樋口 明生 同
沢田 敏男 同
南 敦士 同
井島 武九 九州大学
室田 明 大阪大学
土屋 昭彦 建設省
鶴田 千里 運輸省
湯川 勝太 農林省

幹 事 池本 寅夫 同
武田 建築 同
馬場 博 同
島岡 俊輔 同
岡上 雄三 同
山下 源彦 同
重石 年雄 同
大脇 為総 同
松本三樹夫 同
杉浦 健一 同
白石 英彦 同
須田 康夫 同
野島 勉 同
岡本 基久 同
内村 典夫 同
玉井 淳郎 同
高橋 昇 同
菊岡 保人 同

幹事補佐 林 泰造 中央大学
岸 力 北海道大学
杉尾裕三郎 徳島大学
足立 昭平 名古屋大学
土屋 昭彦 建設省
田中裕一郎 舞鶴工業専門学校
福岡 捷二 東京工業大学
山口 甲 北海道開発局
紀陸 富信 建設省
芦田 和男 京都大学
樺 東一郎 九州大学
鮎川 登 早稲田大学
白砂 孝夫 電力中央研究所
道上 正規 京都大学
馬場 洋二 建設省
長谷川和義 北海道大学

◎ 青函トンネル土工研究委員会
委員長 岡本 舜三 埼玉大学
委員 小野寺 透 同
岡 行俊 京都大学
川本 眺刀 名古屋大学
小林 昭一 京都大学
桜井 春輔 神戸大学

嶋 祐之 埼玉大学
鈴木 光 東京大学
関 陽太郎 埼玉大学
高橋 彦治 国鉄
樋口 芳明 同
平松 良雄 京都大学
広田 孝一 電源開発
村山 朗郎 京都大学
最上 武雄 日本大学
芳村 仁 北海道大学
杉 知也 日本鉄道建設公団
北原 正一 同
足立 貞彦 同
浜 建介 同
横山 章 同
持田 豊 同
進藤 卓 同
石崎 昭義 同
土屋 敬 同
壺阪 裕三 同
今村 一郎 同

◎ “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会(◎印幹事長、○印幹事)

委員長 岡本 舜三 埼玉大学
委員 伊藤友太郎 国鉄
◎飯田 隆一 建設省
池田 和彦 国鉄
石井 清 東京電力
石原 研而 東京大学
岡本 隆一 建設省
○北原 義浩 電力中央研究所
○小林 芳正 国鉄
駒井 敷 八千代エンジニア
柴田 功 建設省
白井 慶治 国鉄
津垣 昭夫 同
林 正夫 電力中央研究所
広瀬 利雄 建設省
藤井 敏夫 東京電力
水江 征捷 電源開発
安江 朝光 建設省
山口 良雄 国鉄
○吉中龍之進 埼玉大学

◎各種委員会

(1) 図書館運営小委員会(46.5.10)

出席者：園田委員長、ほか 2 名。議事：1) 昭和 46 年度予算について。2) 蔵書目録(集大成したもの)の作成について。3) 所蔵文献の廃棄処分について。4) 寄付金の取扱いについて。5) その他。

(2) バイブラインの技術基準研究特別委員会(第 1 回)(46.5.10) 出席者：

奥村委員長、ほか 24 名。議事：1) 委員長挨拶。2) 運輸省挨拶。3) 委員会の運営について。4) 運輸省作成の素案についての説明。5) 討議。

(3) 総合開発懇談会(46.5.11) 出席者：

八十島座長、芝田為茂レポーター(茨城県)、ほか 22 名。議事：1) 芝田レポーターから鹿島港建設に関する報告を受ける。2) 芝田レポーターと会員相互の討議。3) その他。

(4) 海外活動委員会打合せ(46.5.12)

出席者：関係者 27 名。議事：海外

工事の契約・仕様書研究会について意見を伺った。

(5) 欧文論文集打合せ (46.5.12)

出席者：前田委員長，林主査，ほか3名。議事：欧文論文集の今後のあり方につき打合せた。

(6) 学会誌編集委員会書評小委員会 (46.5.12) 出席者：塚山前委員長，堀江委員長，ほか12名。議事：1) 経過報告。2) 新旧委員交替。3) 受付図書審査。4) その他。

(7) 海外活動委員会幹事会 (46.5.12) 出席者：吉越委員長代理，ほか6名。議事：1) 前回幹事会報告。2) 海外工事の契約・仕様書研究会について。3) 46年度委員会構成について。4) その他。

(8) 土木製図基準改訂委員会 (46.5.13) 出席者：菊池委員長，ほか13名。議事：1) 本委員会設置の意図および経過の説明。2) 委員の交代および追加について。3) 委員会の主要議題について；①製図基準の細部修正，②製図基準の大幅改訂，③製図の教科書作成の件，④自動製図についての話題の提起について。4) 各資料の説明および検討。

(9) バイプラインの技術基準研究特別委員会第2回委員会 (46.5.17) 出席者：奥村委員長，ほか25名。議事：1) 経過報告。2) 運輸省作成の技術基準案の検討。

(10) 論文集編集委員会第1小委員会 (46.5.17) 出席者：田島主査，ほか5名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代。

(11) 耐震工学委員会打合せ (46.5.18) 出席者：関係者4名。議事：“地震工学文献目録”につき打合せた。

(12) 耐震工学委員会第18回常任委員会 (46.5.18) 出席者：久保副委員長，ほか16名。議事：1) 第11回地震工学研究発表会について。2) “地震工学文献目録”について。3) 次期委員会構成について。4) 研究会報告のとりまとめ。5) 報告会「ロスアンジェルス地震について」京都大学 後藤尚男氏，東京大学 久保慶三郎氏。6) 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会について。

(13) シールド工法小委員会鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会打合せ (46.5.18) 出席者：村上主査，山本副主査，ほか2名。議事：セグメント標準化にともなう電算にかけるべく計算条件について。

(14) 学会誌編集小委員会 (46.5.18)

出席者：千秋委員長，服部幹事長，ほか6名。議事：1) 経過報告。2) 第56巻第9号編集。3) 第56巻第10号編集打合せ。4) その他。

(15) PCくい設計施工指針小委員会 (46.5.19) 出席者：最上委員長，国分副委員長，ほか26名。議事：1) 前回議事録の確認。2) プレストレストコンクリート太径くい設計施工指針の逐条審議を行なった。

(16) 橋梁構造委員会 (46.5.19) 出席者：平井委員長，ほか10名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 委員会改組について。3) 鋼材クラブよりの委託。4) 次年度委員会，小委員会の構成。5) 講演「米国サンフェルナンド地震報告」大久保委員。

(17) アルミナセメント小委員会幹事会 (46.5.19) 出席者：関係者7名。議事：アルミナセメントコンクリート施工指針(案)のとりまとめについて打合せを行なった。

(18) PCくい指針小委員会・施工分科会 (46.5.19) 出席者：関係者5名。議事：PCくい指針(施工編)の逐条審議を行なった。

(19) 論文集編集委員会第3小委員会 (46.5.19) 出席者：関係者6名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代。

(20) 論文集編集委員会第4小委員会 (46.5.19) 出席者：新谷主査，ほか6名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代。

(21) 欧文論文集編集小委員会 (46.5.19) 出席者：林主査，ほか5名。議事：1) 欧文論文集Vol.2の編集状況について。2) 欧文論文集の今後のあり方について。

(22) “土木技術者のための岩盤力学”第1回改訂小委員会 (46.5.20) 出席者：岡本委員長，ほか12名。議事：1) 経過報告。2) 幹事ならびに幹事長の選出。3) 執筆方針ならびに執筆者の推薦。4) 今後の進め方について。

(23) 原子力土木委員会第6回立地一般分科会 (46.5.20) 出席者：関係者8名。議事：1) 原子力立地条件のアンケートの取りまとめ。2) 立地一般分科会今後の研究課題の打合せ。

(24) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(第13回) (46.5.21) 出席者：関係者4名。議事：地質調査に関する解説書原稿の検討。

(25) 橋梁構造委員会耐風設計研究小委員会相似則研究分科会 (46.5.21) 出席者：関係者9名。議事：1) 「相似則の考え方」東大宇宙航空研究所 佐藤浩氏。2) 「航空学における風洞実験」中村委員。

(26) 橋梁構造委員会耐風設計研究小委員会 (46.5.21) 出席者：平井委員長，ほか15名。議事：1) 委員交代について。2) 講演「West Ontario 大学における風洞実験について」宮田委員。3) 相似則分科会の活動状況。

(27) 論文集編集委員会第5小委員会 (46.5.21) 出席者：岩間主査，ほか3名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代。

(28) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会打合せ (46.5.22) 出席者：関係者7名。議事：本州四国連絡橋耐風に関する調査研究につき打合せた。

(29) 原子力耐震部会主査会 (46.5.24) 出席者：関係者4名。議事：静的耐震計算結果の各基礎における問題点。

(30) 水理委員会「移動床流れの粗度と河床形状」研究小委員会 (46.5.24) 出席者：林小委員長，岸，芦田両主査，ほか13名。議事：移動床流れの粗度と河床形状に関する研究の作業分担および今後の日程。

(31) 原子力土木委員会廃棄物部会 (46.5.25) 出席者：関係者12名。議事：講演「放射性廃棄物の地中処分に関する基礎的研究」井上頼輝委員。

(32) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会 (46.5.25) 出席者：関係者6名。議事：報告書のとりまとめを行なった。

(33) 論文集編集委員会第2小委員会 (46.5.26) 出席者：岩垣主査，ほか4名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代。

(34) 耐震工学委員会打合せ (46.5.26) 出席者：関係者4名。議事：“地震工学文献目録”原稿のとりまとめ。

(35) 第3回建設業に関する懇談会 (46.5.26) 出席者：佐藤座長，ほか18名。議事：1) 座長挨拶。2) 標準請負契約約款の諸問題の審議。3) 標準請負契約約款の取扱いについて。4) 今後懇談会でとり上げる事項。5) その他。

(36) 論文集編集委員会主査幹事会 (46.5.26) 出席者：前田委員長，田島副委員長，岩垣，伊勢田，新谷，島田の各主査，ほか6名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集第192号登載原稿について。4) 欧

文論文集のあり方について。5) 46 年度委員会構成について。6) 合同委員会提出資料について。7) 投稿の手引きについて。8) その他。

(37) 学会誌編集委員会打合せ(46.5.27) 出席者：関係者 6 名。議事：1) 経過報告。2) 学会誌 56 巻 10 号特集計画説明。3) 都市交通問題聴取。4) その他。

(38) トンネル工学委員会拡大運営委員会(46.5.27) 出席者：坂本副委員長，ほか 20 名。議事：昭和 46，47 年度トンネル工学委員会構成および運営について。

(39) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会幹事会(46.5.28) 出席者：関係者 4 名。議事：昭和 46 年度の運営方針につき打合せを行なった。

(40) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水分科会(46.5.28) 出席者：関係者 12 名。議事：1) 報告書のとりまとめについて。2) 昭和 46 年度調査方針について。

(41) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会(46.5.29) 出席者：寺島委員長，ほか 16 名。議事：1) 昭和 45 年度報告書のとりまとめ。2) 昭和 46 年度運営方針。

(42) 衛生工学委員会打合せ(46.5.29) 出席者：寺島委員長，ほか 3 名。議事：環境問題小委員会の進捗状況，運営方針等につき打合せを行なった。

(43) 土木計画学研究委員会打合せ(46.6.1) 出席者：長尾幹事長，ほか 3 名。議事：1) 経過報告。2) 全国大会研究討論会の件(計画学研究委員会担当案件の処理)。3) 次回シンポジウムの件。4) 46 年度委員会構成の件。5) その他。

(44) バイブラインの技術基準研究特別委員会第 3 回委員会(46.6.1) 出席者：関係者 25 名。議事：運輸省作成の技術基準案の検討。

(45) 学会誌編集委員会 56 巻 9 号執筆打合せ(46.6.1) 出席者：関係者 13 名。議事：1) 経過報告。2) 内容討議および質疑。3) 目次内容執筆決定。4) その他。

(46) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会(46.6.2) 出席者：村上主査，山本副主査，ほか 11 名。議事：1) 鋼製セグメント標準化のための応力計算(本計算)計算条件について。2) コンクリートセグメント規格化に関する委託研究諾否について。

(47) 昭和 46 年度青函トンネル土庄

研究委員会第 1 回委員会(46.6.2) 出席者：関係者 24 名。議事：1) 委員会構成について。2) 昭和 46 年度青函トンネル土庄調査計画について。3) 青函トンネルにおける地圧測定について(鈴木委員)。4) 計測鋼製アーチ支保工における土庄算定の新方法(平松委員)。5) F. 15 の測定計画について(土屋幹事)。

(48) 原子力土木委員会耐震部会(46.6.2) 出席者：関係者 15 名。議事：1) 静的計算結果のとりまとめ。2) 動的応答計算準備。

(49) 岩盤力学委員会主査幹事会(46.6.2) 出席者：関係者 5 名。議事：1) 第 7 回岩盤力学に関するシンポジウム開催について。2) 研究会開催計画について。

(50) 海岸工学委員会編集小委員会(46.6.2) 出席者：堀川小委員長，ほか 6 名。議事：第 18 回海岸工学講演会応募論文の確認，整理および論文要旨の検討。

(51) アルミナセメント小委員会・幹事会(46.6.3) 出席者：関係者 7 名。議事：アルミナセメントコンクリート施工指針の逐条審議を行なった。

(52) 図書館運営小委員会(46.6.3) 出席者：園田委員長，ほか 2 名。議事：1) 昭和 46 年度予算について。2) 蔵書目録(集大成したもの)作成について。3) 所蔵図書廃棄について。4) その他。

(53) 水資源問題懇談会準備会(46.6.4) 出席者：関係者 8 名。議事：水資源問題に関する懇談会の実施につき打合せを行なった。

(54) 海岸工学委員会第 1 回幹事会(46.6.4) 出席者：岩垣委員長，堀川幹事長，ほか 9 名。議事：1) 編集小委員会委員構成について。2) 第 18 回海岸工学講演会応募について。3) 第 18 回海岸工学講演会シンポジウム，見学会，懇親会について。

(55) 文献調査委員会(46.6.4) 出席者：小林委員長，ほか 18 名。議事：1) 会誌 56 巻 7 号登載抄録について。2) 解説記事について。3) 委員会活動について。

(56) 学会誌編集小委員会(46.6.8) 出席者：千秋委員長，服部幹事長，ほか 6 名。議事：1) 経過報告。2) 会誌 56 巻 10 号特集編集。3) その他。

(57) 学会誌編集委員会書評小委員会(46.6.9) 出席者：堀江委員長，ほか 7 名。議事：1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) その他。

(58) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会打合せ(46.6.10) 出席者：関係者 16

名。議事：1) 本州四国連絡橋耐震合同研究会研究成果の概要(案)について。2) 本州四国連絡橋耐震に関する調査研究の件。

(59) 「沈埋トンネルの耐震設計に関する研究」打合せ(46.6.10) 出席者：関係者 5 名。議事：昭和 46 年度建設省土木研究所委託研究「沈埋トンネルの耐震設計に関する研究」に関する打合せを行なった。

◎その他

(1) 昭和 46 年度岩の力学研究連合委員会第 1 回幹事会(46.5.20) 出席者：関係者 6 名。議事：1) 国際岩の力学学会(I.S.R.M.)について。2) 活動方針の検討ならびに今後の進め方について。

(2) 昭和 46 年度土木学会夏期講習会打合せ(46.5.21) 出席者：森行事企画委員会委員長，ほか 9 名。議事：昭和 46 年度夏期講習会プログラムおよび講演者の選定を行なった。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 全国大会実行委員会講演部会(46.6.30，クローバー) 出席者：関係者 16 名。

(2) 屋食会(46.7.14，支部事務局) 出席者：関係者 15 名。

映画：大成建設「新しいトンネル工法」
(3) 全国大会実行委員会総務部会(46.7.20，クローバー) 出席者：関係者 20 名。

(4) 全国大会実行委員会見学会(46.7.23，クローバー) 出席者：関係者 19 名。

◎関東支部

(1) 第 1 回幹事会(46.4.16，土木学会) 出席者：佐藤幹事長，ほか 9 名。

(2) 役員会(46.4.28，土木学会) 出席者：水越支部長，ほか 20 名。

(3) 第 8 回通常総会(46.4.28，土木学会図書館講堂) 出席者：48 名

次 第：

- 1) 支部長あいさつ
- 2) 45 年度事業報告および決算報告の承認
- 3) 46 年度事業計画および予算の報告

- 4) 商議員改選の承認
- 5) 新役員の紹介
- 6) 新支部長あいさつ

(4) 昭和 46 年度役員

支部長 応越 達雄 東京電力
 幹事長 佐藤 友光 同
 商議員 青山 一 空港公団
 栗津 清蔵 日大
 伊能 忠敏 国鉄
 上山 惟康 東京電力
 梅木 一郎 奥村組
 小山 謙三 群馬県
 大野 正夫 運輸省
 川上 賢司 建設省
 河島 嗣 同
 北川 義男 鹿島建設
 久留 健司 山梨県
 嶋 祐之 埼玉大
 戸田 順一 清水建設
 鳥居 隆 西松建設
 永倉 正 電力中研
 成田 純 電源開発
 馬場 豊彦 神奈川県
 林 泰造 中大
 針ヶ谷 信 東京都
 平野 和男 道路公団
 藤田 圭一 間組
 村山 幸雄 建設省
 八十島義之助 東大
 柳沢 四郎 住友建設
 柳田 真司 国鉄
 吉海 正 新潟県
 吉村 恒 国鉄

(以上 46 年まで)

商議員 石川 武美 埼玉県
 小野 匡美 八千代エン지니어
 大平 拓也 鉄道公団

神山 一 早大
 川浦 潔 武蔵工大
 後藤 績 日本国土開発
 佐々木和彦 水資源公団
 玉野 治光 首都高速
 堀野 康行 建設省
 中沢 淳 鹿島道路
 成島 昭 三井建設
 久田 安夫 運輸省
 町田富士夫 国鉄
 吉村 六夫 五洋建設
 渡辺 健 帝都高速

(以上 47 年まで)

幹事 市川 秀 帝都高速
 久野 悟郎 中大
 塩崎 武良 東京都
 清水 基術 群馬県
 清野 茂次 オリエンタルコンクリート
 末平 治 国鉄
 中沢 学而 復建エンジニア
 長尾 守 木更津工高専
 氷田 正男 小石川工高
 藤田 康夫 新潟県
 前田 邦夫 首都高速
 横沢 伯達 建設省

(以上 46 年まで)

幹事 井上 章平 建設省
 石崎 瑛男 茨城県
 上田 勝基 間組
 白井 信 道路公団
 緒方 司 千葉県
 栗原 幸一 埼玉県
 近藤 徹 建設省
 佐竹 深 前田建設工業
 高木 春男 水資源公団
 竹下 貞雄 鉄道公団
 林 茂樹 日本国土開発

平塚 昭隆 電源開発
 山田 祥一 鹿島建設

(以上 47 年まで)

(5) 第 2 回幹事会 (46.6.28, 土木学会) 出席者: 水越支部長, ほか 15 名。

◎関西支部

(1) 第 1 回幹事会 (46.6.2, 大阪市開発公社) 出席者: 田中支部長, 後藤幹事長, ほか 18 名。

(2) 庶務・会計・企画担当幹事会 (第 1 回) (46.6.16, 好文倶楽部) 出席者: 後藤幹事長, ほか 12 名。

(3) 事務所運営委員会 (第 1 回) (46.6.21, 土木学会関西支部) 出席者: 土木学会および土質工学会より関係者 6 名。

(4) 建設機械講習会運営委員会 (第 1 回) (46.6.7, 土木学会関西支部) 出席者: 土木学会, 土質工学会および日本建設機械化協会より関係者 6 名。

(5) 建設機械講習会運営委員会 (第 2 回) (46.6.14, 土木学会関西支部) 出席者: 土木学会, 土質工学会および日本建設機械化協会より関係者 5 名。

(6) 第 61 回騒音振動委員会 (46.6.22, 土木学会関西支部) 出席者: 庄司委員長, ほか 11 名。

(7) 騒音振動委員会幹事会 (第 58 回) (46.6.22, 土木学会関西支部) 出席者: 庄司委員長, ほか 5 名。

編集
後記

例年になく早い梅雨明けが宣言されたと思
うまもなく、梅雨型前線の局地性豪雨により
各地に被害が相次ぎましたが、土木事業に従
事する者にとって天候の不順を苦手とするは昔も
今も変わらないようです。遅ればせながら、残暑
お見舞い申し上げます。

すでにご承知のように、土木学会誌には一般記事
を集めた一般号と、特定テーマについて種々の観
点から検討した特集号とがあります。とくに特
集号については関係者の努力によりこれまでも
数多くのタイムリーな特集が生まれ、大方の好
評を得るところとなっております。先般実施さ
れました土木学会誌についてのアンケート調査
(学会誌 56 巻 4 号) でもおわかりのように、
特集に対する要望がきわめて多く、特集テーマ
についての提案も数多く寄せられており、ご期
待にこたえるべく種々の特集が着々と準備さ
れております。

さて、本号は土木計画学に関する特集号です
が、いかがでしょうか。土木計画学の対象とし
る内容につ

いては古くからのテーマもちろん含まれていま
すが、土木計画学という言葉そのものは比較
的新しいものがあります。このため、土木計
画学といってもそれから受けるイメージにつ
いては意見のわかれるところがかなりある
ように思われます。

本特集は土木計画学研究委員会を中心とし
た数回にわたる熱心な討議・打合せによっ
て生まれました。予定された執筆者の都合
もあって当初の計画より若干縮小され
たところもありますが、でき上がったもの
についてはかなりご満足いただけるもの
と思っております。

数年前から毎年行なわれております土木
計画学講習会あるいは土木計画学シンポ
ジウムの盛況ぶりからみて、会員諸氏の
土木計画学に対する関心度はかなり大き
いものと推察されますが、本特集と合
わせて土木計画学へと理解を深めてい
ただければ幸いです。

本号へのご意見・ご感想を編集課までお寄せ下さい。

(今本博健・記)